

雇用ミスマッチの分析と諸課題

—労働市場のマッチング機能強化に関する研究報告書—

「労働市場のマッチング機能強化に関する研究委員会」(*主査)

*大橋 勇雄 (一橋大学大学院経済学研究科教授) 中村 二郎 (日本大学大学院総合科学研究科教授)

中馬 宏之 (一橋大学イノベーション研究センター教授) 太田 聡一 (慶應義塾大学経済学部教授)

川口 大司 (一橋大学大学院経済学研究科助教授) 神林 龍 (一橋大学経済研究所助教授)

須賀 恭孝 (連合総合労働局長) 中村 善雄 (連合前雇用法制対策局長)

本研究委員会(主査・大橋勇雄一橋大学大学院教授)は、企業の採用、退職、能力開発などの人事活動がどのような労働需要を生み出しているか、求職者が求人とのマッチング活動においてどのような問題に直面しているかなどの雇用・失業問題の解明をめざして、2003年12月に設置された。

委員会では、研究会での討議に加えて、求人、求職者の実態データを集めるため、2005年1月、「企業の採用・退職・能力開発アンケート調査」、「中途採用者アンケート調査」を実施し、企業の求人データおよび中途採用者の回答データを中心に分析作業を行った。本報告書は、アンケートデータ(企業アンケート回収率14.1%、個人アンケート回収率7.6%)等の分析と委員の研究報告・意見交換をふまえて、取りまとめたものである。

今回の報告書では、現状のミスマッチの要因として、求人情報のあり方、求職ルートの特徴、需要低迷期における若年者採用と従業員年齢構成の関係などマクロ、ミクロの諸課題について、労働市場における職業紹介機能の強化や雇用機会の拡大が喫緊の課題となっていることを提示している。

また、若年層においては生涯所得の点から考えると賃金の低下は大きなコストとなること、高齢者の定年退職は新卒雇用も中途採用も増加させないことなども分析結果として明らかにしている。

目次

序章 目的と概要

第I部

- 第1章 ミスマッチからみた日本の労働市場
- 第2章 正規従業員の中途採用の概観と予備的考察
- 第3章 正規従業員の中途採用における求人経路選択行動
- 第4章 転職市場における求職経路の役割と特色—中途採用者個人調査を用いた分析—
- 第5章 離職コストの計測—男子の世代間比較—
- 第6章 労働者の高齢化と新規採用

第II部 「企業の採用・退職・能力開発のアンケート」および「中途採用者アンケート」の調査報告